

## 新年親睦会盛大に530人参加 / 北米沖縄県人会



2004年新年親睦会はロス郊外モンテベロ市のゴルフ・コースにあるクワイヤットキャノン・レストランで開催された。約600人が参加。三期目を迎えた比嘉朝儀会長はボランティアで協力してくれた会員達に深く感謝し、今年の抱負として図書室の充実化及び婦人会の建て直しを計り、県人会の益々の発展を期待すると挨拶した。

第一式は司会者のキティー・サンキーさんによる開会の辞で始まり、先輩パイオニア達への黙禱、そして昨年の理事・役員に表彰状が授与された。特別功労者としてポール・玉栄さんと赤嶺富子さんに州議会議員のジョージ・ナカノさんの代理でトレイシー・トダさんとテランス・テラウチガーデナ市長よりそれぞれに表彰状、スペシャル・ボランティアとして、五美・ジャコモ（図書）、ヘラルド・カメヤ（サイン、バナー）、ビル・ウエハラ、シャーロット・ギボ、ルス・ルー、ベティー・オシロ、ペドロ・アゲナ、フランク・呉屋（盆栽）さんらに比嘉県人会会長より表彰状が手渡された。

2004年度の理事・役員の就任式宣誓がテラウチ・ガーデナ市長のリードで行われ、来賓及び前県人会長の紹介が前田洋子さんより発表された。来賓を代表して野本日本国総領事代理（横山雅紀領事）、南加県人会協議会 タック・西会長、日本商工会議所 安倍新二会頭、サンディエゴ県人会 金城正信会長らが挨拶をした。ケン・神谷建設委員長が建設基金キャンペーンについて、県人会館の四年間分割払いはほぼ完了したと述べた。県人会ホームページ更新係を代表して、ライアン・横田さんが「去年一年間だけで2157人の県人会ウェブ・サイトの新規閲覧者があり、月平均167人、その内少なくとも10%が日本からの新規サイト・ビジター（リピーターは含めない）である」と説明した。猿年生まれの人達が壇上に上がり、沢岷安和前県人会長が代表して、乾杯の音頭を取り、一部が終了した。

中食後理事の呉屋君子さんの司会で第二部が、野村流古典音楽保存会、野村流古典音楽協会、琉球そう曲興陽会北米支部、琉球そう曲隆弦会、琉球そう曲琴和会などの古典音楽の演奏で開幕した。島民謡研究所、恵子・モーリス琉球民謡研究所が琉球民謡、宮城流豊舞会新垣幸子琉舞研究所、宮城流能松会宮城能松琉舞研究所、県人会理事・及び芸能部役員による琉球舞踊、アリソン・新川さんがカラオケ、琉球国祭太鼓、松林流空手古武道 大田栄八さんが空手、新垣幸子芸能部長の提案で、真境名愛子さん、宮城能松さん、与那嶺恵子さん指導で県人会理事・役員らによる浜千鳥の踊り、そして全員でカチャーシー、芭蕉布を唄って閉会。全体の進行係を徳永愛子さんが担当した。

2004年度の理事、役員、各部の委員長は以下の通り。比嘉朝儀(理事、会長)、ケン・神谷(理事、副会長、建設)、当銘貞夫(理事、副会長、歴史)、エセル・安里(理事、副会長、婦人会)、ヘリーン・島根(理事、記録)、安次富正信(理事)、呉屋君子(理事、通信)、ジェーン・国吉(理事、会計、図書)、新川勝子(理事、監査)、ネオミ・遠藤(監査)、徳永愛子(財務、文化)、山城春雄(理事、公報、カジマヤー)、新垣幸子(理事、芸能)、ターシャ・忍足(奨学)、ナンシー・新島(ニュースレター)、赤嶺富子(理事、ソーシャル)、モーリス恵子(理事、ソーシャル)、ヒロシ・山内(ヤングオキナワーズ)、新城友弘(武道)、山内繁子(理事)、松川美恵子(青荘年)、大城りりこ(会員)。前田洋子(事務局)。

当銘貞夫

写真はぶつつけ本番の即席舞踊を披露県人会役員ら。英語版で他の写真が拝見できます。